

新エネルギー導入を

公明 低炭素社会の構築へ要望

岡・市
福前

福岡県前原市議会公明党の笹栗純夫、黒田公二の両議員は15日、

市役所に松本領男市長を訪ね、太陽光をはじめとする再生可能な新エネルギーの積極的な導入を求める申し入れ

を行った。

席上、笹栗議員らは、前原市内に家庭用燃料電池システムを集中的に設置する水素タウンがあり、国内外から環境先進都市として注目されていることに言及。その上で、低炭素社会の構築に向けた、市のさらなる取り組みを要望し、①

松本市長(左)に新エネルギーの積極導入を申し入れる笹栗中、黒田の両議員



公共施設における太陽光発電設備設置をはじめとするエコ改修②クールアース・デモ運動の定着③学校校庭の芝生化④省エネ住宅の促進——など、6項目にわたって申し入れた。

これに対し松本市長は、関係部局と検討していくと語った。